

☆ おめでとうございます ☆ 平成21年 記念の赤ちゃん ☆

1000人目 7月13日生まれ
小松 伶織那(れおな)ちゃん・お母様 美那様

生まれた赤ちゃんをご主人が一番に抱いて欲しいという希望が叶い、ご主人立会いのもとで無事に第一子を出産された小松様にお話をうかがいました。

ご主人の反応はいかがでしたか？
一陣痛が夜中だったので、主人も疲れているのではないかと心配でしたが、すごく喜んでくれました。お産中、写真をたくさん撮ってくれたのが嬉しかったです。出産後も、ずっと赤ちゃんを眺めていて、早く家に連れて帰りたいといつも言っていました

伶織那ちゃんにはどんなお子さんに
なって欲しいですか？
一産まれる前はこういう子に育って欲しいとか色々考えていたんですが、産まれてきたら考えていた事をすべて忘れてしまいました(笑)。とにかく元気な子に育って欲しいと思います。そして、いつか1番大切な人にめぐり逢って幸せになって欲しいと思います



1ヶ月健診時には記念のアルバムが贈られました

1500人目 10月16日生まれ
角野 美月(みづき)ちゃん・お母様 美有紀様



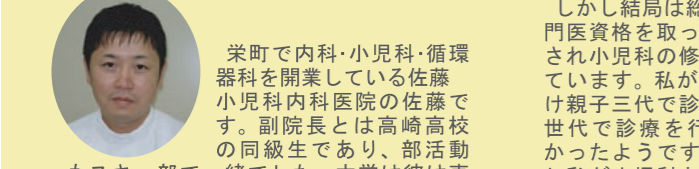
2回目のお産を体験された角野様、美月ちゃん誕生のご感想は？
一抱っこした時にすごく小さいと思いました。あと上の子と顔がそっくりだなと。上の子(長男・匠都君2才)のときは陣痛が44時間くらい、それに比べ手今回は7~8時間で陣痛も分婁もすごく短く感じました。また上の子のときは呼吸法をきちんとしていなかったので慌ててしまいましたが、今回はソフロロジーも参加できたので、落ち着いて出産できました。それと、助産師さんが付いてくれたので心強かったです。

子育ての秘訣はありますか？
一まだ上の子も小さいので子育ての秘訣はわからないです...でも上の子の時は出産してすぐに働いていたので、今回はじっくりゆっくり育てていきたいと思えます。それから今回も完全母乳でいけると思えます！

立ち会い分娩をされましたか？
一今回も時間がかかかかと思っていたらすぐに産まれたので、主人は間に合わなかったです...でも、出産2時間後くらいに来てくれてすぐに抱っこして喜んでくれました。

インタビュー後、可愛い伶織那ちゃんとお月ちゃんの様子に、まだ独身の私ですが、思わず“赤ちゃんが欲しい...！”と思ってしまいました。小松様、角野さまご協力ありがとうございました。おめでとうございます！(笑福来っ子)

連携医紹介 佐藤小児科内科医院 院長 佐藤 秀樹先生



柴町で内科・小児科・循環器科を開業している佐藤小児科内科医院の佐藤です。副院長とは高崎高校の同級生であり、部活動もスキー部と一緒に。大学は彼は東京、私は大阪と離れたなれになりましたが卒業後は群馬大学第二内科に在籍したため社会人になった後も東西の文化の違いを乗り越えてよく遊んでもらっています。酒の上での話など語り出したらきりがありませんがそれはまた別の機会に...

さて当院は柳川町小児科佐藤病院から先々代院長の私の祖父が独立・開業して今年でちょうど50周年になります。独立当初は新後閑閑に開業しましたが数年後に現在の柴町に移転したそうです。その後三代目の院長が私であり、病弱な先代院長の父のためパン屋になる夢をあきらめて医師になったというエピソードは有名(?)ですが自分の人生少しは自分で決めるんだというちっぽけな意地で、自家の専門である小児科でなく心臓病を専門に扱う循環器科を専攻しました。

でばりの由来 佐藤病院理念 基本方針

佐藤病院は、今も「館出張:たてでばり」の名前で呼ばれていますこれは江戸時代より観音山の「館」地区より高崎藩城下に出張診療を行い明治初期に現在地(高崎市若松町)に移転してきた歴史を持つからです。

私たちは出産を中心に女性の生涯にわたる専門病院として、優秀なスタッフによる最新医学を取り入れた診療内容を地域社会に提供する使命を自覚し、温かみのある看護とサービスにより、患者様一人ひとりに愛される病院を目指します。

1. 地域に密着した女性専門病院として女性の生涯に貢献する
2. 常に学び続け、医療技術の向上を図る
3. 医療のプロとして誇りを持って行動し患者様の信頼に応える
4. 互いの信頼関係を大切にし、信頼の輪を広げる
5. 経営環境を自覚し、適応する効率と改善に努力する

患者さまの権利章典

当院は患者さまの医療に対する主体的な参加を支援するために、以下の「患者さまの権利章典」を尊重し診療を行います

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を得る権利があります
2. 患者さまには、医療従事者が提供する治療法に関して、自らの意思で決定する権利(選択する権利と拒否する権利)があります
3. 患者さまには、診療録等の開示を求める権利があります。また、診療過程で得られた個人情報・秘密が守られる権利があります
4. 患者さまには、医療従事者に対して、患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただく責務があります
5. 患者さまには、すべて患者様が適切な医療を受けられるために、他の患者様の治療に支障を与えないように配慮していただく責務があります



教えて久保先生！ 女性の痔について

今回は、意外にも患っている女性が多い「痔」についてお話しします。
痔とは一般に、痔核(イボ痔)、裂肛(切れ痔)、痔ろうを指し、成人の3人に1人が痔を患っているともいわれるほどよくある病気です。また近年では、生活習慣病のひとつとも言われ、中でも20~40歳代の女性に多いといわれています。ではなぜ女性に多いのでしょうか？



出産のときの強い息みで痔になる方も少なくありません。妊娠前からもっていた痔が、妊娠や出産で悪化するかも。
また女性には、冷え性の方が多く、肛門周辺の血液の循環が悪くなり痔を招くこともあるようです。それだけでなく、同じ姿勢での仕事やストレス、辛いもの嗜好や飲酒も影響していると考えられます。ここでも規則正しい生活習慣が痔にならないための秘けつと言えます。

原因として、①便秘や下痢などの便通異常②妊娠や出産③冷え性などがあげられます。
女性は割と便意を我慢しがち。便意もないのに無理に息んで出そうとせず、出したいときに出すこと。また下痢を促すダイエットや偏食はやめましょう。妊娠中は女性ホルモンの影響で腸のぜん動運動が鈍くなり、便秘を起こしやすくなります。妊娠中期以降は、子宮も大きく重くなり、直腸や肛門を圧迫するだけでなく、静脈も圧迫するので血行が悪くなることも原因に考えられます。

新入職員紹介 よろしくお願ひします！

質問内容： ①好みの異性 ②マイブーム ③今の職業を選んだ理由

看護師 室田みどり
①スポーツの好きな人
②運動不足の為、スポーツボーリングをしています。なかなか難しいですが、楽しんでやっています
③人の役に立てるような仕事があったかた為

臨床検査技師 茂木美穂子
①笑顔が素敵な人
②テレビ番組の「水曜どうでしょう」
③医療を陰で支える存在に魅力を感じたから

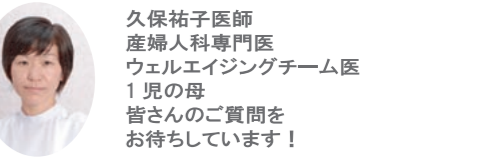
検査室助手 鈴木恵美
①気配りが犬っぽい感じ
②うどん、フェットチーネ
③小5の時に出会った顕微鏡と自分の性格

総務部 ゆうゆ 茂木久美子
①男らしくて優しい人
②娘とショッピング
③お世話になったこの病院で、働きたかったので

☆たかはし君の得々講座☆ ~医事部長による知ってると役立つ情報コーナー~

生命保険についてお話をさせて頂きます。日本で販売されている生命保険は1000種類以上の商品があるとされており、生命保険には
・定期保険=基本は掛捨てで、入院や手術・死亡時に対する給付を主に行なう(一部返戻金のあるものもある)
・養老保険=積立重視の保険(死亡等の補償あり)
・終身保険=一生の保障がある。(返戻金を100%保障)

も考えてから解約をされた方が良いと思います。新規加入(見直し・下取りも含む)の場合、加入後2年以内の入院・手術の場合には「手術給付金」「入院給付金」等を受けられない事があります。以前より基礎疾患があり(子宮筋腫や高血圧症など)、それを告知せずに加入した場合は、審査の対象となり、最悪の場合、支給されないケースとなりますので、加入時には、偽りなく申告する事をお勧めします。
ご自分の年収や家族構成・ライフプランを考え、保障を重視するか、貯蓄を重視するのか、はっきりとした目的を持って加入する事が失敗のない保険選びのポイントだと思います。また分からない事や質問は、各保険会社の「コールセンター」や日本FP協会認定の「ファイナンシャルプランナー」に相談する事をお勧めします。



久保祐子医師 産婦人科専門医 ウェルエイジングチーム医 1児の母 皆さんのご質問をお待ちしています！
こんなときは受診しましょう・・・
・排便時の出血、血便
・残便感
・排便痛
・すっきりしない排便感
・排便後のお腹のはり
・座るとき肛門周辺の痛み

生理中でも我慢せずに受診してください。普段から、規則正しい生活を心がけ、身体を冷やさないようにしましょう！

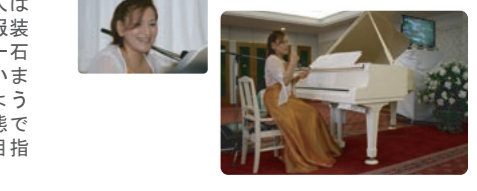


News 胎教コンサート

9月30日(水)6F展望レストランにおいて、第7回胎教コンサートが行われました。

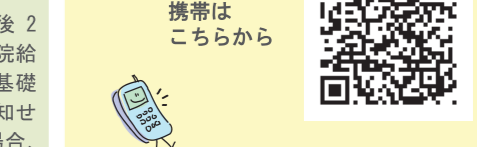
新型インフルエンザにより、ぎりぎりまで開催が危ぶまれていましたが、準備は早い段階から胎教委員を交えて行われていました。ご参加の皆様には手指消毒・マスク着用などの警戒態勢にご協力いただき、無事迎えることができました。ありがとうございました。

歌とピアノは、安中市出身のあかみくみこさん。あかみさんは、澄んだ歌声とピアノ演奏に加え、今年3月当院で出産された経験も交えた楽しいおしゃべりを披露されました。ご参加いただいた妊婦さんやそのご家族と一緒に歌ってください笑顔がいっぱいの会場でした。平日にもかかわらず、例年以上にご主人さまの参加もあり、手遊び歌と一緒に体験して下さったり、途中涙ぐむ奥様にやさしく手を添える姿は、とてもほほえましい光景でした。



ブログのご案内

※佐藤病院公認ブログ「でばり通信」 <http://blog.livedoor.jp/debari/>



※副院長ブログ「雲のように」 <http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/>
※最新の妊治について紹介し、楽しみながらづくりを考える副院長ブログ「Babyは寝て待て」 <http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/makeababy/>
※赤ちゃんが欲しい女性と医師のメディカル・コミュニティサイト「HugeHug」 <http://hugehug.jp/>

